

ローマ法王台下の広島招へいに関する要望

平素から、広島県の発展につきまして格別の御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先日、ローマ法王台下が、本年、被爆地広島・長崎を訪問されるとの報に接しました。

貴職が、これまでに行ってきたローマ法王台下への訪日要請が実を結んだことに敬意を表しますとともに、一昨年、貴省及び在バチカン日本大使館の格別の御支援により、ローマ法王台下に、直接、広島訪問を要請する栄誉に浴したことに、改めて御礼を申し上げます。

ローマ法王台下は、カトリック教徒にとどまらず、全世界の人々に奉仕して、良心の声を届け続けておられ、そのお姿に、共感と尊敬の念を抱く人々の輪は、宗教、宗派を問わず広がっています。

ローマ法王台下に、ここ広島で、核兵器のない平和な世界に向けたメッセージを発信していただければ、核軍縮を取り巻く厳しい情勢の中で、核廃絶に向けて国際的な機運を大きく高め、世界中の人々にその実現への希望を与える非常に良い機会となると考えており、被爆者をはじめ県民を挙げて、心より歓迎したいと考えております。

改めまして、被爆地広島訪問の実現に向け、格別の御配慮をお願い申し上げますとともに、ローマ法王台下の広島訪問の折には、ぜひとも、広島平和記念資料館の訪問、原爆死没者慰霊碑への献花に加え、被爆者と直接言葉を交わし、核兵器のない世界の実現に向けた力強いメッセージを発信していただきたいと考えており、貴職の御配慮を重ねてお願い申し上げます。

平成 31 年 1 月 23 日

広島県知事